

「学校と家庭」and「表現と鑑賞」を相互に関連させた題材計画

今後想定される第2波に備え、学校と家庭を結び付けた題材計画を提案します。参考資料NO.11や「動画作成のススメ」の動画で御紹介した題材を取り上げ、表現と鑑賞の学習において、学校の授業で取り扱うことが望ましい活動と家庭学習の場で取り扱える活動を整理して、全体像を示してみました。



第1学年【題材名】身の回りのデザインをチェンジ!～生活をより〇〇に～

本題材の目標

知識及び技能	【知識】形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、場所や造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解する。【共通事項】 【技能】意図に応じて工夫して表現し、制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。【A表現】(2) 技能
思考力・判断力・表現力等	【表現】対象の特徴や場所のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練る。【A表現】(1) 発想・構想 【鑑賞】生活を豊かにするためのデザインの、調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。【B鑑賞】(1)
学びに向かう力、人間性等	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近な生活の中のデザインを豊かにすることなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

鑑賞

① 家庭や学校などの身近な生活の中にあるデザインを鑑賞し、美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて見方・感じ方を広げる。

日頃何気なく目にしていても、鑑賞することを通して、様々なデザインがあることに気付きます。鑑賞をとおして気付いた視点を、次の表現の学習に生かしていきます。

学校で

表現
(発想・構想)

② 周囲を見回して、デザインをチェンジしてみたいものを言葉でワークシートにかき出す。

デザインの力によって、生活をより楽しく、豊かにできることを知ることができます!

①の学びが②、③につながるよう、学校における授業の際に、①で学んだ視点を生徒にしっかりと意識させるようにする必要があります!

③ かき出した中から1つ選んで、デザインを考える。

対象の特徴や場所のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練る。

その場所やその対象を、どんなイメージで、どんな風にチェンジさせようかな?
そのデザインを家族や友達が見たときに、どんな気持ちになってほしいかな?・・・そのためには、デザインをもっとこうした方がいいかな?

試行錯誤の時間です!

学校の中にあるもののデザインを考える場合は、生徒がチェンジさせたい場所(部分)と、その周辺の様子(全体)が分かる写真などを一緒に持ち帰らせるとよいでしょう!

生徒が家庭でデザインを考える際には、写真を見ながら、その場所の特徴やイメージを具体的にもちながら、主題を生み出すことができます!

家庭学習で

表現
(技能)

④ 考えたデザインを基に制作する。

意図に応じて工夫して表現し、制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。

構成、配置、配色は?

ここもまた…
試行錯誤の時間です!



単に、「上手に塗れた、切り取れた」などではなく、**自分の意図を具現化するために創意工夫して表している**ことが重要です。そのために、生徒たちが試行錯誤しているでしょうか?

作品を実際の場所に配置し、写真等で記録に残しておきましょう!

学校で

鑑賞

⑤ 友達の作品を鑑賞する。

お互いの完成した作品を鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを伝え合い、主題と表現の関係や、意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。

感染症予防を踏まえ、生徒作品を鑑賞する際に教師が全体で提示したり、作品一覧を印刷して配付したりする等の工夫を行い、密にならないよう配慮しましょう。

また、美術においては、声を発する対話だけが「対話」ではありません。「自己との対話」、「作品との対話」も大切な対話です。一人一人がワークシート等に言語化し、それらを活用して全体で共有するとよいですね!



学校・家庭で

